

カワラヨモギ栽培暦 (国立医薬品食品衛生研究所筑波薬用植物栽培試験場)

月	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
生育相と作業	<p>一年目</p> <p>△——△——△ △——△ ○——○</p> <p>基肥 播種 除 除 間引き 追中除</p> <p>整地 草 草 肥耕草</p> <p>△——△ △——△ △——△</p> <p>収穫・調製 採種</p>																																			
	<p>二年目</p> <p>○——○ ○——○</p> <p>萌芽 中 除</p> <p>△——△ 耕 草</p> <p>間引き・追肥</p> <p>△——△ △——△ △——△</p> <p>収穫・調製 採種</p>																																			
作業の内容	<p>☆基肥 (10 a 当たり)</p> <p>堆肥 500~1,000 kg</p> <p>苦土石灰 60~100 kg</p> <p>菜種油粕 20 kg</p>						<p>☆間引き</p> <p>1年目 株間: 10 cm (6月下旬~7月上旬)</p> <p>2年目 株間: 30 cm (3月下旬~4月中旬)</p>						<p>☆病虫害</p> <p>発芽後から6月: カブラヤガによる被害がみられる。</p> <p>梅雨期から夏期: 立枯れ症状の病気の発生がみられる。</p> <p>生育期間を通じアブラムシの発生がみられる。</p>						<p>☆収穫・調製</p> <p>9~10月, 花粉の飛散が認められた後10~14日目頃に地上部を刈り取り, できるだけ葉や花序軸が混じらないように花穂だけを取った後, すみやかに乾燥させる。</p>						<p>☆収量</p> <p>1年生乾燥物で10 a 当たり, 250~320 kg, 2年生で400~500 kg</p>						<p>☆採種</p> <p>11月中旬~12月上旬に, 褐色になった頭花を採取し, 天日で乾燥させる。採種量は1株当たり約4 gと推定される。</p>					
<p>☆播種量 (1 a 当たり)</p> <p>14~20 g</p>						<p>☆追肥 (10 a 当たり)</p> <p>1年目 7月上旬</p> <p>窒素 2 kg</p> <p>磷酸 2 kg</p> <p>加里 2 kg</p>						<p>☆採種</p> <p>条間60~70 cmに条播。</p>						<p>2年目 3月下旬~4月中旬</p> <p>苦土石灰 60~100 kg</p> <p>窒素 4 kg</p> <p>磷酸 4 kg</p> <p>加里 4 kg</p>																		